

記者発表（発表・資料配布）				
月／日	担当課（室）係名	TEL	発表者氏名・担当課長名	その他配布先
9／29 （金）	北播磨県民局県民交流室 県民・商工観光課	直通番号 0795-42-9080	県民交流室長 高崎 和則 県民・商工観光課班長 （商工観光担当） 伊藤 明洋	県庁記者クラブ 東播磨県民局 西播磨県民局 丹波県民局 丹波市

経糸・緯糸（たていと・よこいと） 想いを乗せて・・・

“さあ、加古川線（カコセン）を愛そう” 利用促進ウィークについて

JR 加古川線を、地域の必要な鉄路として今後も未来につなげていくため、下記の期間中、鉄道利用の呼びかけを実施します。また同期間中、西脇市の地場産品・播州織を使った6色の中吊り広告が登場し、列車内を彩ります。

1 実施期間

令和5年10月5日（木）～同年10月18日（水）まで

2 内容

(1) 利用促進の呼びかけ

新聞広告等による地域住民への呼びかけや、ポスターやチラシ（別添参照）を作成し、西脇市駅～谷川駅の沿線企業や高等学校等に周知、啓発を図る。

(2) 播州織中吊り広告の製作

西脇市と県立西脇高校の生徒、県立繊維工業技術センターが共同製作した播州織の6色の中吊り広告をJR 加古川線（加古川駅～谷川駅）の全車両内に、掲示します。（別添参照）

〈中吊りの大きさ〉

ワイド（横一列 36.4cm×103cm）

〈掲示する車両〉

- ① 125系車両（1両編成、主に西脇市～谷川駅間を運行）
- ② 103系車両（2両編成、加古川駅～西脇市駅間を運行）

3 主催等

（主催）西脇市、北播磨県民局

（協力）県立西脇高等学校、県立繊維工業技術支援センター、JR 西日本

4 問い合わせ先

- 西脇市役所 都市経営部まちづくり課 JR ローカル線対策室
〒677-8511 西脇市下戸田128番地の1 TEL 0795-22-3111(代) FAX 0795-22-1014
- 北播磨県民局 県民交流室県民・商工観光課（商工観光担当）
〒673-1431 加東市社字西柿1075-2 TEL 0795-42-9081 FAX 0795-42-7535

※ウィーク期間中の10月15日（日）は加古川線（西脇市駅～谷川駅間）の「乗って残そう乗車デー」です。沿線住民の皆様に加古川線に対する思いと共に、みんなで1000人の乗車を目指す企画です。また、ご乗車の皆様がお思いを書き込めるメッセージボードを10月7日（土）～10月15日（日）まで西脇市駅と谷川駅に設置します。

（問い合わせ先）兵庫県土木部交通政策課 TEL078-341-7711(代)



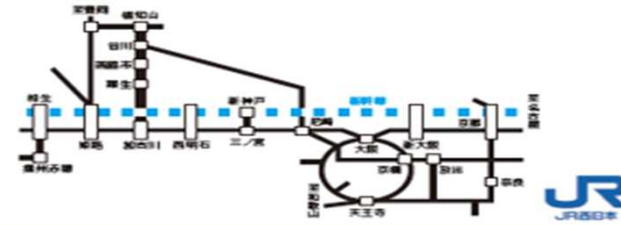
経糸・緯糸(たていとよこいと)
想いを乗せて...

さあ、
あ、
加古川線(カコセン)
を愛そう

“さあ、加古川線(カコセン)を愛そう” 利用促進ウィーク
令和5年10月5日(木)～10月18日(水)まで

電車で、いい旅。
電車&ウオーク
地域の鉄道をみんなで守ろう!
「加古川線沿線」へは、JRでのお出掛けが便利です!

- 主催/西脇市・北播磨県民局
- 協力/県立西脇高等学校・県立繊維工業技術支援センター・JR西日本



“さあ、加古川線(カコセン)を愛そう”利用促進ウィークとは



JR加古川線を地域の必要な鉄路として今後も未来につなげていくため、通勤、通学時などの鉄道利用を推進するウィークです。利用促進ウィークの期間中、県立西脇高校の生徒、県立繊維工業技術センターが共同製作した播州織を使った中吊り広告が、JR加古川線全車両に掲示されます。

実施期間：令和5年10月5日（木）～10月18日（水）

ウィーク期間中の**10月15日(日)**は加古川線（西脇市駅～谷川駅間）の「**乗って残そう乗車デー**」です。沿線住民の皆様に加古川線に対する思いと共に、みんなで1000人の乗車を目指しましょう。

播州織の中つり広告



「他人事」ではなく、「我が事」として加古川線について考えてみませんか？

【SDGs・地球にやさしい鉄道】

鉄道は国内の旅客輸送の30%を担っていますが、それにかかるエネルギー消費量はわずか約4%です。鉄道は他の交通機関と比べると、エネルギー効率に優れ地球環境に優しくSDGsの目標達成に寄与する乗り物ともいえます。



【ゆとりある時間が持てる】

鉄道を利用すれば、車窓から流れる景色を楽しんだり、少し振り返る時間を持てたりと、ゆとりある時間を過ごすことができます。列車は「自分を少し整える」という体験ができるひとつの方法かもしれません。



【健康の増進】

鉄道を利用すると駅やバス停まで歩いたり、乗り換え時に階段を昇り降りしたり、運動量が増えて健康増進に繋がります。



【家計に優しい】

マイカーの維持には、車両の購入費用のほかに、ガソリン代や車検、保険料など様々な費用がかかります。一方で公共交通に必要な費用は運賃のみで、家計にも優しい乗り物です。



普段、鉄道を利用しない方も、将来的に鉄道を利用する時がくるかもしれません。目的地や日によって鉄道を使うなど、積極的に利用して、地域全体で鉄道の未来を守りませんか？



播州織で作成した中吊り（6色）

（ 緑 ）



（ 青 ）



(茶)



(紫)



(ピンク)



(えんじ)

